

## &lt; 運営推進会議における評価\_様式例 &gt; ※公表用

## 【事業所概要】

法人名	医療法人 健康会	事業所名	看護小規模多機能型居宅介護 いちごの森 いちご日和
所在地	(〒 910 - 0856 ) 福井市勝見 3 丁目 20-12 いちごの森 1 F		

## 【事業所の特徴、特に力を入れている点】

複合サービスの特徴を活かしながら、医療ニーズが高い方、退院後の医療ケア・生活支援が必要な方、終末期対応が必要な方、生活全般を支えていくことが必要な方の受け入れを行っています。ご本人の状態に応じながら、レクリエーション活動や季節に合わせた外出（コロナ禍の状況に応じて）などの活動を行っています。併設している児童クラブとの交流活動についても、コロナ禍の状況に応じながら再開等検討していきます。

## 【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2020 年 10 月 31 日	従業者等自己評価 実施人数	( 9 ) 人	※管理者を含む
----------------	---------------------	------------------	---------	---------

## 【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 2020 年 11 月 16 日	出席人数 (合計)	( 4 ) 人	※自事業所職員を含む
出席者 (内訳)	<input type="checkbox"/> 自事業所職員 ( 1 人) <input type="checkbox"/> 市町村職員 ( ___ 人) <input type="checkbox"/> 地域包括支援センター職員 ( 1 人) <input type="checkbox"/> 地域住民の代表者 ( 1 人) <input type="checkbox"/> 利用者 ( ___ 人) <input type="checkbox"/> 利用者の家族 ( 1 人) <input type="checkbox"/> 民生委員 ( 1 人) <input type="checkbox"/> その他 ( ___ 人)			

## ■ 前回の改善計画の進捗評価

項目	前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価	
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看多機の特徴を踏まえた事業運営を職員間で明確にする。具体的には理念に付け加える、または基本指標を策定し、スタッフに周知する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日の終礼や月1回のミーティングで事業運営の確認をしている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本指標の策定まではいかない状況だった。</li> </ul>	
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アセスメントで、ケアマネ以外の他のスタッフも聞き取りを行い、ケア内容を深め、目標・計画に反映する。</li> <li>・今後の状況変化の予測・リスク管理を具体的に挙げ、スタッフがイメージできるよう検討会などで議論する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月1回モニタリングを行い、家族・主治医へ報告</li> <li>・月1回アセスメント</li> <li>・Nsによる研修会</li> <li>・利用者・家族から相談</li> <li>・介護認定更新等や状態変化時に担当者会議の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアマネに集中していたモニタリング業務を担当看護・介護スタッフが同行し情報集やアセスメントする機会を作った。家族見学会や面談などの機会を設けた。日頃の様子は送迎や訪問時に家人から情報収集する機会は以前から作っている。</li> </ul>
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタッフ間で情報共有の徹底</li> <li>・在宅生活への円滑な移行支援の継続</li> <li>・情報の共有を図り、状態の変動にあわせたサービス提供の検討・実践</li> <li>・夜間・緊急時対応の連携継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝礼・終礼・ミーティングにてスタッフ間で情報共有している。</li> <li>・入院先・以前利用中のサービス事業所・ケアとも情報共有している。</li> <li>・夜間・緊急時はオンコール</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報共有は対応できている。</li> <li>・利用者によって受け入れまでの日が短い場合、家族やケアマネとやり取りがギリギリになってしまうことがある。</li> </ul>
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32～41)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域行事への積極的参加</li> <li>・外出行事などで、地域ボランティアの方の協力依頼する。そのような機会に事業所の活動を見てもらい理解を深めていただき、必要とされる時に声をかけられてもらえるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議で報告</li> <li>・地域の活動参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍で地域との活動はほとんどできなかった。</li> <li>勝見保育園空き地で、畑活用など近隣店舗や家人とやりとりした。</li> </ul>
III. 結果評価 (評価項目 42～44)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者ごとのニーズを把握し、スタッフ間・他事業所間で情報共有を図っていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者ごとの目標は達成されているが、目標に具体性を持っていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・徐々に具体的な目標は共有出来てきている</li> </ul>	

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目	評価結果	改善計画	
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回課題だった看多機の特徴を踏まえた事業運営を理念等の言葉で明確にすることは道半ばである。事業内容では、終末期や退院直後の対応などは増えてきている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今、行っていることをミーティングで確認し、理念など言葉にして反映する。</li> </ul>	
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多職種で、主治医・家族・他施設で情報収集は行なえている。医療面での情報共有やサービス提供は行なえているが、家での生活面でのアセスメント・サービス提供は更なる改善が必要と思われる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療面でのサービス提供の充実。看護師の増員</li> <li>・喀痰・吸引の介護士養成</li> <li>・家での生活面でのアセスメントの充実</li> </ul>
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他機関や他職種同士で連携し、情報共有・サービス提供できている。医療面は申し送り等サービスも統一されやすいが生活面は日々変化する中で情報共有の課題はある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報・サービス提供で不備のないように連携していく。</li> <li>・家でどう生活するかをアセスメント・サービス提供に盛り込む。</li> </ul>
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32～41)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議で、地域や家族との情報交換の機会を設けている。ホームページの情報発信は滞っている</li> <li>・医療面で喀痰吸痰できる介護士養成は課題である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページからの情報発信</li> <li>・医療面でのサービス提供の充実</li> </ul>
III. 結果評価 (評価項目 42～44)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療面でのサポートは充実してきている。必要に応じてサービス提供も柔軟に組み替えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家での生活につながるサービスの提供。具体的には、家でどう生活していくかの視点を計画に盛り込む</li> </ul>	

※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 評価表 [事業所自己評価・運営推進会議における評価]

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
<b>I 事業運営の評価 [適切な事業運営]</b>							
<b>(1) 理念等の明確化</b>							
① 看護小規模多機能型居宅介護の特徴を踏まえた理念等の明確化とその実践							
1	○ サービスに求められる「①医療ニーズの高い利用者の在宅生活の継続支援」、「②在宅での看取りの支援」、「③生活機能の維持回復」、「④家族の負担軽減」、「⑤地域包括ケアへの貢献」を含む、独自の理念等を掲げている	○				<p>高い理念の元、行動を実施されることを期待します。</p> <p>この資料では理念がわかりません。</p>	<p>✓ ①～⑤の全てを含む理念等がある場合は「よくできている」</p> <p>✓ ①～⑤の一部を含む理念等が掲げられている場合は、「おおよそできている」もしくは「あまりできていない」</p> <p>✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」</p>
2	○ サービスの特徴および事業所の理念等について、職員がその内容を理解し、実践している	○				<p>・利用者、家族によりそい、希望や要望にできる限り答えて頂くことを期待します。</p>	<p>✓ 「サービスの特徴および理念等を踏まえた実践」の充足度を評価します</p> <p>✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」</p>
						<p><b>[具体的な状況・取組内容]</b></p> <p>・毎朝理念を唱和し、意識を高めて実践している。職員の理念理解はあるが、さらに①～⑤の内容の深みを増す必要はある。</p>	
						<p><b>[具体的な状況・取組内容]</b></p> <p>・利用者の医療ニーズ・家族のニーズに応じて対応している。急な予定変更もできる限り対応し、サービス実施している。</p> <p>・癌末期、看取りの利用者さんも受け入れはしているが、ニーズがサービスでカバーしきれない要望もあり利用につながらないことある。</p>	

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
		・幅広いニーズに柔軟に対応しているが、主治医や家人とのさらなる連携強化の必要もある。					
<b>(2) 人材の育成</b>							
① 専門技術の向上のための取組							
3	○ 職員との話し合いなどを通じて、各職員の中長期的な育成計画などを作成している	○				計画的に研修等の知識・技術の向上を図り、職員が成長されることを期待します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「育成計画の作成」の状況について、充足度を評価します</li> <li>✓ すべての職員について育成計画などを作成している場合は「よくできている」</li> <li>✓ 育成計画などを作成していない場合は「全くできていない」</li> </ul>
		<b>[具体的な状況・取組内容]</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ミーティングや空いた時間を利用し、スタッフ同士での話し合いを行い計画作成などのベースを考えている。</li> <li>・中長期的な計画・実践は各スタッフでばらつきはある。</li> </ul>					
4	○ 法人内外の研修を受ける機会を育成計画等に基づいて確保するなど、職員の専門技術の向上のための日常業務以外での機会を確保している	○					<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「専門技術の向上のための日常業務以外での機会の確保」について、充足度を評価します</li> </ul>
		<b>[具体的な状況・取組内容]</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・法人内外の研修案内が回覧でき、自発的に参加できる機会を得ている</li> <li>・今期は、法人内外の研修はコロナの影響もあり、オンラインになる事が多かった。オンラインの場合、専門技術の習得が困難になることやディスカッションの機会は減っている。</li> </ul>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
② 介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保							
5	○ 介護職・看護職・介護支援専門員の間で、職員が相互に情報を共有する機会が、確保されている	○					<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「情報を共有する機会」の充足度を評価します</li> <li>✓ 例えば「利用者等の具体的なケースについて話し合うための、定期的なカンファレンスの開催」などが考えられます</li> </ul>
<b>(3) 組織体制の構築</b>							
① 運営推進会議で得られた意見等の反映							
6	○ 運営推進会議で得られた要望、助言等を、サービスの提供等に反映させている		○				<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「得られた要望・助言等のサービスへの反映」の視点から、充足度を評価します</li> </ul>
② 職員が安心して働くことができる就業環境の整備							
7	○ 職員が、安心して働くことができる就業環境の整備に努めている	○					<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「職員が、安心して働くことのできる就業環境」の充足度を評価します</li> <li>✓ 例えば、「職員の能力向上の支援」、「精神的な負担の軽減のための支援」、「労働時間への配慮」などが</li> </ul>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
		<p>イング、朝礼、終礼時話し合いも行っている。</p> <p>・介助量が大きい場合は福祉用具の使用や複数人での介助で対応している</p>					考えられます
<b>(4) 情報提供・共有のための基盤整備</b>							
① 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備							
8	○ 利用者等の情報について、随時更新を行うとともに、必要に応じて職員間で迅速に共有できるよう工夫されている	○				<p>・コロナ禍の中。負担が多くなっている状況とは思いますが、本来の介護を皆様に団結して助け合っている様子が見られて安心です。</p>	<p>✓ 「情報の随時の更新」と「職員間で迅速に共有するための工夫」の2つの視点から、充足度を評価します</p>
<b>(5) 安全管理の徹底</b>							
① 各種の事故に対する安全管理							
9	○ サービス提供に係る利用者等および職員の安全確保のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている	○				<p>・インシデントやアクシデントがあった時は報告書を作成し、終礼等で事例報告と対応検討をしている。</p> <p>・ケア安全対策、交通安全対策、個人情報保護等の研修会の実施も法人や介護事業部主導で実施しており各スタッフ参加し学んでいる。</p>	<p>✓ 「各種の事故に対する予防・対策」の充足度を評価します</p> <p>対策が求められる事項としては、例えば「医療・ケア事故の予防・対策」、「交通安全」、「夜間訪問時の防犯対策」、「個人情報保護」などが考えられます</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
<b>② 災害等の緊急時の体制の構築</b>							
10	○ 災害などの緊急時においても、サービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関の間で、具体的な対応方針が共有されている	○					<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「緊急時におけるサービス提供のための備え」について、充足度を評価します</li> <li>✓ 例えば、「安否確認方法の明確化」、「連絡先リストの作成」、「医療材料などの確保」、「災害時ケアのマニュアル化」などが考えられます</li> </ul>
<b>II サービス提供等の評価</b>							
<b>1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供</b>							
<b>(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成</b>							
<b>① 利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からの一体的なアセスメントの実施</b>							
11	○ 在宅時の利用者の生活状況や家族等介護者の状況等を含む、利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメントが行われている		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族を含めたアセスメントは必要かと思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「家族等も含めた 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメント」の充足度を評価します</li> <li>✓ ケアが包括的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、家族等を含めた 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメントが必要となります</li> </ul>
<u>[具体的な状況・取組内容]</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アセスメントは行っているが、在宅時や夜間の状況等のアセスメントは不明なことが多い。</li> <li>・家族などを含めた暮らしのアセスメントはもっと深めていく必要がある。</li> </ul>							



番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
12	○ 介護職と看護職がそれぞれの視点から実施したアセスメントの結果が、両職種の間で共有されている	○				<p>・一人一人の体調管理は、いつ誰かにかわってくるので、共有して行われているのは大変望ましいことです。</p>	<p>✓ 「介護職と看護職間でのアセスメント結果の共有」について、充足度を評価します</p> <p>✓ 介護・看護の両面から行われたアセスメントの結果は、その後のつき合わせなどを通じて、両職種で共有されることが望ましいといえます</p>
② 利用者等の「尊厳の保持と自己実現の達成」を重視した計画の作成							
13	○ 家族を含む利用者等の考えを把握するとともに、その目標の達成に向けた計画が作成されている		○			<p>・月のモニタリングで家族の思い、介護への考え、状態の予測をふまえ、情報収集している。</p> <p>・訪問時や送迎時の会話などで情報収集し、必要あれば電話で確認している。</p> <p>・得られた情報は日報に記入し情報共有している</p> <p>・利用者の急変時や変化があった時はその都度家族に報告・相談し計画変更し対応している。</p>	<p>✓ 「家族等の考えを含めた計画の作成」について、充足度を評価し利用者のみでなく、家族等の考えを適切に把握するとともに、その考えを含めた計画を作成することは重要であるといえます</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
14	○ 利用者の有する能力を最大限に活かした、「心身の機能の維持回復」「生活機能の維持又は向上」を目指すことを重視した計画が作成されている		○				<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「利用者の有する能力を活かした、心身機能の維持回復を重視した計画の作成」について、充足度を評価します</li> <li>✓ 「利用者が尊厳を持って、その有する能力に応じ地域において自立した日常生活を営む」ために、必要な視点であるといえます</li> </ul>
③ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画の作成							
15	○ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画が作成されている		○				<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「状況変化の予測」と「リスク管理」の2つの視点から、充足度を評価します</li> <li>✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、特に看護職による予後予測などを踏まえて計画を作成することが重要です</li> </ul>
<b>(2) 利用者等の状況変化への迅速な対応とケアマネジメントの実践</b>							
① 継続したアセスメントを通じた、利用者等の状況変化の早期把握と計画への反映							
16	○ サービス提供を通じた継続的なアセスメントにより、利用者等の状況変化を早期に	○					<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「早期の把握」と「計画への適宜反映」の2つの視点から、充足度を評価します</li> </ul>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	把握し、計画への適宜反映が行われている	察することや看護師によるバイタルチェックで、体調など変化はその都度カルテや連絡帳に記録し情報共有している。早期に変化を把握し、計画へ反映する努力をしている。					
② 居宅への訪問を含む、利用者等の暮らし全体に着目したアセスメントの実施と計画への反映							
17	○ 通い・泊まりの利用に過度に偏らないよう、適時適切に利用者宅を訪問することで、家族等を含めた居宅での生活状況の変化を継続的に把握している		○				<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「訪問による、家族等を含めた居宅での生活状況の変化の継続的な把握」という視点から、充足度を評価します</li> <li>✓ 訪問によるケアの提供は、家族等を含めた居宅での生活状況を把握するためにも重要です</li> </ul>
③ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等に関する関係多職種との情報共有							
18	○ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等について、主治医など、事業所内外を含む関係多職種と情報が共有され		○				<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「利用者等の状況変化や目標の達成状況等の事業所内外を含む関係多職種との情報共有」について、充足度を評価します</li> </ul>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
	ている	報に記載している。その情報は毎月のモニタリング、朝礼、終礼で確認し共有している。 ・必要に応じて受診同行して、主治医からの意見・情報を収集している。					
<b>(3)介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供</b>							
① 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供							
19	○ 介護職と看護職のそれぞれの専門性を最大限に活かしながら、柔軟な役割分担が行われている	○	.				<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「介護職と看護職の専門性を活かした役割分担」について、充足度を評価します</li> <li>✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護では、効果的・効率的なサービス提供のために、各々の専門性を活かした役割分担や、業務の状況等に応じた柔軟な役割分担を行うことが重要です</li> </ul>
20	○ 利用者等の状況について、介護職と看護職が互いに情報を共有し対応策を検討するなど、両職種間の連携が行われている	○					<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「介護職と看護職の情報共有および対応策の検討」について、充足度を評価します</li> </ul>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
		などあれば日報に記載して共有している。					
② 看護職から介護職への情報提供および提案							
21	○ 看護職から介護職に対して、 疾病予防・病状の予後予測・ 心身の機能の維持回復などの 観点から、情報提供や提案 等を行っている	○					<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「看護職の専門性を活かした、介護職への情報提供や提案等」について、充足度を評価します</li> <li>✓ このような情報提供や提案等は、看護職の専門性を活かした役割の1つとして期待されます</li> </ul>
<b>(4)利用者等との情報及び意識の共有</b>							
① 利用者等に対するサービスの趣旨及び特徴等についての情報提供							
22	○ サービスの趣旨および特徴 等について、分かりやすく説明 し、利用者等の理解を得て いる	○					<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します</li> </ul>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
② 利用者等への「在宅での療養生活」に係る指導・説明							
23	○ 作成した計画の内容や在宅での療養生活の継続に向けて留意すべき点等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている		○				✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・留意すべき点は必要時、直接話し合いや電話で説明を行っている ・利用者・家族からの質問に対しては、その都度説明し理解を得ている					
24	○ 利用者等が行う医療処置や医療機器の取り扱い方法、家族等が行うケアの提供方法等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	○					✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・基本的に看護師が対応し、必要な医療ケアについては都度説明している。					
③ 重度化した場合や終末期における対応方針の、利用者等との相談と共有							
25	○ 利用者本人（意思の決定・表示ができない場合は家族等）の希望や意向を把握し、サービスの提供に反映している	○					✓ 「サービス提供への適切な反映」について、充足度を評価します
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・日々の会話やモニタリングを通し、希望や意向を確認しサービス反映できるよ					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
		う努力している					
26	○ 在宅生活の継続の可否を検討すべき状況を予め想定し、その際の対応方針等について、利用者等と相談・共有することができている		○				<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「将来に発生し得る様々なリスクを想定した上での、対応策の検討と共有」について、充足度を評価します</li> </ul>
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リスクについては主治医の情報や意見をもとに想定し、方針を立てている。</li> <li>・変化のある時はケアマネ中心に利用者・家族に話し共有するようにしている。</li> </ul>					
27	○ 終末期ケアにおいて、利用者等に適切な時期を見計らって、予後および死までの経過を丁寧に説明し、説明した内容や利用者等の意向等を記録として残している	○					<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「予後および死までの経過の説明」と「記録の有無」の2つの視点から、充足度を評価します</li> <li>✓ 「丁寧に説明し」且つ「記録として残している」場合は「よくできている」</li> </ul>
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主治医からの意見、方向性などを踏まえて経過や状態変化に合わせ説明を行っている。</li> <li>・ケアマネが中心に行っている。</li> </ul>					
<b>2. 多機関・多職種との連携</b>							
<b>(1) 病院・施設等との連携による円滑で切れ目のないケアの提供</b>							
① 病院・施設等との連携や情報共有等による、在宅生活への円滑な移行							
28	○ 病院・施設等との連携・情報共有等により、病院・施設等からの、利用者の円滑な在宅生活への移行を支援している		○				<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「利用者の円滑な在宅生活への移行」について、充足度を評価します</li> <li>✓ 例えば、「退院・退所前のカンファレンスへの参加」、「利用者等に係</li> </ul>
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアマネを中心に医療機関と連携し、病状確認、病状説明への同行、退院前カ</li> </ul>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
		ンファレンスに参加して、在宅生活へ円滑に移行できるようにしている。					る病院・施設等との継続した情報共有」などの取組が考えられます
② 入院・入所の可能性がある利用者についての、主治医等との対応方針の共有							
29	○ すべての利用者について、緊急時の対応方針等を、主治医等と相談・共有することができる	○					<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「緊急時の対応方針等の主治医等との相談・共有」を評価します</li> <li>✓ 利用者の状態変化・家族等介護者の状況の変化など、実際に発生する前の段階から予め対応方針等を主治医等と相談・共有しておくことが重要です</li> </ul>
③ 地域の医療機関等との連携による、急変時・休日夜間等に対応可能な体制の構築							
30	○ 地域の医療機関等との連携により、休日夜間等を含めて、すべての利用者について、急変時に即座に対応が可能な体制が構築されている	○				<ul style="list-style-type: none"> <li>・すべての利用者について急変時即座に対応可能な体制が構築されているのは素晴らしいことです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「即座な対応が可能な体制の構築」について、充足度を評価します</li> </ul>



番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
<b>(2) 多職種との連携体制の構築</b>							
① 運営推進会議等における、利用者のために必要となる包括的なサポートについての、多職種による検討							
31	○ 運営推進会議等において、利用者のために必要と考えられる包括的なサポートについて、民生委員・地域包括支援センター・市区町村職員等への情報提供や提案が行われている		○				<p>✓ 「利用者のために必要となる、介護保険外のサービスやインフォーマルサポート等を含めたケアの提供について、多職種とともに検討・支援を行っていくなどの取組」の充足度を評価します</p> <p>✓ そのような取組をしたいことがない場合は「全くできていない」</p> <p>✓ 民生委員のみでなく、自治会長や町会長などの住民代表も対象です</p>
<b>3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画</b>							
<b>(1) 地域への積極的な情報発信及び提案</b>							
① サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信							
32	○ 運営推進会議の記録について、誰でも見ることができるような方法での情報発信が、迅速に行われている		○				<p>✓ 「誰でも見ることができる方法での情報発信」と「迅速な情報発信」の2つの視点から、充足度を評価します</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
33	○ サービスの概要や地域において果たす役割等について、正しい理解を広めるため、地域住民向けの積極的な啓発活動が行われている			○			<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「積極的な啓発活動」について、評価する項目です</li> <li>✓ 例として、「チラシ等の配布」や「地域説明会の実施」などの取組が考えられます。</li> <li>✓ 利用者や職員の確保のみを目的とした活動等は除きます</li> </ul>
<b>(2) 医療ニーズの高い利用者の在宅での療養生活を支える、地域拠点としての機能の発揮</b>							
① 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を含む、地域への訪問看護の積極的な提供							
34	○ 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を対象とした訪問看護を積極的に実施している			○			<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「指定訪問看護事業所の指定を併せて受けている事業所」のみが対象です。該当しない場合は、実施状況欄は無記入で、[具体的な状況・取組内容]欄に「指定なし」と記入してください</li> <li>✓ 「登録者以外を対象とした訪問看護」を実施していない場合は、「全くできていない」</li> <li>✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」</li> </ul>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
							の視点から、充足度を評価します
② 医療ニーズの高い要介護者の積極的な受け入れ							
35	○ 「たん吸引」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている		○			・介護職でたん吸引スタッフになれるのなら積極的に養生お願い致します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください</li> <li>✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」</li> <li>✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します</li> </ul>
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・看護師のみ対応しているため夜間対応が課題である。 ・介護職で喀痰吸痰スタッフがいないので養成していく必要がある。					
36	○ 「人工呼吸器」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている				○		<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください</li> <li>✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」</li> <li>✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します</li> </ul>
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・実績なし ・人工呼吸器の設備はない ・日勤帯での受け入れについては、看護師を中心にケアの提供については検討必要だが、泊まり対応については難しい。受け入れが必要となれば、器機について再研修（看護師）が必要。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
37	○ 「看取り支援」を必要とする 要介護者を受け入れること ができる体制が整っており、 積極的に受け入れている		○				<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「積極的な受け入れ」について、 充足度を評価してください</li> <li>✓ 「受け入れることができる体制」 が整っていない場合は、「全くでき ていない」</li> <li>✓ 「あまりできていない」～「よく できている」は、その「積極性」 の視点から、充足度を評価します</li> </ul>
<b>(3) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画</b>							
① 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解							
38	○ 管理者および職員が、行政が 介護保険事業計画等で掲げ ている、地域包括ケアシステ ムの構築方針や計画の内容 等について理解している			○			<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「内容等の理解」について、その 充足度を評価します</li> <li>✓ 地域包括ケアシステムの構築にあ たっては、その中で各々が果たす べき役割を、明確に理解すること が必要であるといえます</li> <li>✓ 地域包括ケアシステムの構築方針 や計画などが無い場合は、「全くで きていない」</li> </ul>
② サービス提供における、(特定の建物等に限定しない) 地域への展開							
39	○ サービスの提供エリアにつ いて、特定の集合住宅等に限	○					<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「特定の集合住宅等に限定しな い、地域への積極的な展開」につ</li> </ul>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
	定せず、地域に対して積極的にサービスを提供している	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・受け入れ相談の時点で、実施地域を確認し対応している。特定の集合住宅へ限定はない。					いて、充足度を評価します ✓ 看護小規模多機能型居宅介護は、特定の集合住宅等に限定することなく、地域全体の在宅療養を支える核として機能していくことが期待されます ✓ 特定の集合住宅等のみを対象としている場合は「全くできていない」
③ 安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等							
40	○ 介護・看護の観点から、地域の関係者に対し、必要に応じて課題提起や改善策の提案等が行われている		○			<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・運営推進会議で課題提起や改善策の提案は行なっている。	✓ 「課題提起や改善策の提案等の取組」について、その充足度を評価します ✓ 今後は、サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、必要となる保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等、利用者等のみでなく地域における課題や改善策を関係者に対して提案していくなどの役割も期待されます ✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	およそ でき ている	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
41	○ 家族等や近隣住民などに対し、その介護力の引き出しや向上のための具体的な取組等が行われている			○			<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「家族等や近隣住民に対する、介護力の引き出しや向上のための取組」について、その充足度を評価します</li> <li>✓ 今後は、利用者への家族等や近隣住民の関わりを促しながら、関係者全員の介護力を最大限に高めることにより、在宅での療養生活を支えていくための環境を整えていくなどの役割も期待されます</li> <li>✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」</li> </ul>
		<p><b>【具体的な状況・取組内容】</b></p> <p>・家族に対して連絡を取るようになっているが、近隣住民に対しては、特に取り組みしていない。</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
<b>Ⅲ 結果評価</b>				
① 計画目標の達成				
42	○ サービスの導入により、利用者ごとの計画目標が達成されている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている ② 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない <u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・モニタリングにて計画、評価を行い、利用者ごとに目標を立てている。 ・家族からもよい評価をいただいている。	・サービス導入後の利用者さんの要望達成率が2/3になった事は素晴らしく、今後の向上を期待します。	✓ 「計画目標の達成」について、評価します
② 在宅での療養生活の継続に対する安心感				
43	○ サービスの導入により、利用者およびその家族等において、医療が必要な状況下においての在宅での療養生活の継続に対し、安心感が得られている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている ② 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない <u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・必要に応じて、訪問時に処置指導を行い、手技などを指導している。		✓ 在宅での看取りを除く、全ての利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「医療が必要な状況下においての、在宅での療養生活の継続に対する安心感」について、評価します

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
44	○ サービスの導入により、在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等において、在宅での看取りに対する安心感が得られている	<p>1. ほぼ全ての利用者について、達成されている</p> <p>2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている</p> <p>3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている</p> <p>④ 利用者の1/3には満たない</p> <p>5. 看取りの希望者はいない</p> <p><b>[具体的な状況・取組内容]</b></p> <p>・看取りに対しては、家族は不安を抱えており不安に寄り添うこともあれば、うまく対応できない時もあり入院になったこともあった。</p>		<p>✓ 在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「在宅での看取りに対する安心感」について、評価します</p> <p>✓ 在宅での看取りは、事業所内（通い・泊まり）での看取りを含みます</p> <p>✓ 在宅での看取りの希望者がいない場合は、「5. 看取りの希望者はいない」</p>